

# 平成31年度（2019年度）各部局戦略計画

部局名：産業文化部

部局長名：福永 孝雄

## 1 重点取組方針

(1)	市民との協働のもと、文化芸術の振興に努め、文化の薫り高いまちの実現を目指す。
(2)	産業面でまちの個性を際立たせるとともに、雇用創出を図り、求職者の希望する働き方に合った就労を実現するための取組を進める。また、消費者教育推進計画の実施に取り組み、高齢者などの「消費生活の安全安心」を支える。
(3)	観光資源の活性化を図り、まちの魅力を高め、国内外からの観光客に優しいまちづくりを推進する。
(4)	北部地域の農産物及び南部地域の花き園芸の更なる活用を図る。
(5)	北部地域の活性化に向けて、地域資源の活用や他の地域との交流・連携により地域全体の魅力を高める。

## 2 重点取組事項

No.	重点取組事項	具体的な取組内容
(1)	文化芸術活動等の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの文化芸術の振興にとどまらず、観光、まちづくり、産業その他の関連分野における施策を意識した事業展開を図る。</li> <li>ガーデンフィールズ跡地において、文化芸術センターと庭園の整備を実施し、2020年春の開館に向けて準備を進める。</li> <li>文化芸術センターを意識して、家族や子どもたちをターゲットとした事業を展開して、開館に向けた市民の期待を高める。併せて、市内の文化活動団体や文化財団との協働での事業を増加させる。</li> <li>文化芸術センターを含め、文化芸術に関する情報発信力を高める。</li> <li>文化芸術センターの運営にあたっては、周辺の手塚治虫記念館、文化創造館との連携を強化し、一体的な運営体制を構築する必要があり、(仮称)文化芸術拠点連携促進協議会の設置など、文化芸術を通じたエリア全体での相乗効果を高めていく仕組みづくりを図る。</li> </ul>
(2)	商工業の振興や雇用促進と、消費者教育の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き商店街等への補助制度により支援するほか、事業所訪問を行い、より活用しやすく、実効性のある補助制度の検討を進める。</li> <li>企業活動支援事業補助の活用により、新たな企業立地や既存事業所の本市への持続的な立地を目指すほか、事業承継に関する支援につき、国や県と連携しながら取り組む。</li> <li>起業に関するセミナーやワークショップを開催し、起業に意欲や興味のある人に向けた支援を行うほか、起業後のフォローアップを行い、安定的な経営を支援する。また、起業家や事業者に、起業に関する情報提供や気軽に相談できる場を提供する民間施設への支援を推し進める。</li> <li>宝塚ブランド「モノ・コト・バ宝塚」のあり方を検討し、事業者と行政、あるいは事業者間でのつながりを意識した事業を展開する。</li> <li>宝塚市労働施策推進計画を着実に実施し、就労意欲のあるあらゆる人の就労環境向上に取り組む。</li> <li>女性や高齢者の就労・起業を推し進めるため、ホームページなど電子媒体を使った一元的な情報発信を行うほか、他機関と連携し、雇用・就労の場の創出や相談窓口設置の検討を進める。</li> <li>従来の高齢者層向けの出前講座に加えて、高校生や大学生など若年者層を対象にした出前講座の実施に向け、関係機関と連携のもと実現化に取り組む。また、高齢者をターゲットとした特殊詐欺対策を充実するため、詐欺電話撃退機能付機器購入費補助金制度を創設し、被害防止意識の普及啓発を図る。</li> <li>国民生活センターや県などが実施する相談員のレベルアップ研修やWEB研修を活用するなどし、相談員の資質向上を図る。</li> </ul>

<p>(3)</p>	<p>多様な観光資源を活用した情報発信の強化等による国内外からの誘客に関する取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市国際観光協会会員をはじめとする事業者や関係団体・企業など多様な関係者と協同し、観光誘客の体制づくりの強化を行い、地域経済の発展に取り組む。</li> <li>・観光集客のため、各観光施設や関係団体の協力による現状の把握や分析を行い、第6次総合計画の分野別計画として、増加する訪日外国人旅行者（インバウンド）の誘致も視野に入れた新たな観光戦略を策定する。</li> <li>・市民や事業者と連携し、本市の魅力を発信できる人材の育成や増加、事業の拡大を図る。</li> <li>・手塚治虫記念館のリニューアルや新たに整備する文化芸術センター（庭園）、宝塚ホテルの移転など周辺施設の魅力を相互に連携して発信し、相乗効果を図る。</li> <li>・アニメフェスタや歌劇貸切公演などソフト事業の魅力向上を図るとともに、ハード面では、温泉施設や観光噴水のあり方を検討するとともに、効率的な維持管理に取り組む。</li> <li>・魅力ある観光資源を活用し、インバウンドを含む観光客による経済効果の創出を図るため、イベントの実施や市国際観光協会と連携した国内外の旅行エージェントへのプロモーション、ホームページやSNS、情報誌などを活用した効果的な情報発信を行う。</li> <li>・「歌劇のまち宝塚」ならではの取組として、宝塚歌劇市民貸切公演や外国人留学生歌劇紹介事業などを継続実施し、市民や事業者とともに、本市の宝である宝塚歌劇の魅力を発信する。</li> <li>・近隣自治体や市国際観光協会と連携し、広域的な観光振興を図り、アニメツーリズム協会へ参画し、アニメの聖地として手塚治虫記念館へのさらなる集客を図る。</li> </ul>
<p>(4)</p>	<p>北部地域の農産物及び南部地域の花き園芸の更なる活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダリアの花の魅力を伝えるとともに、宝塚ダリア園の魅力向上を支援し集客増の取組を継続的に展開し、ダリア産業の振興を図る。</li> <li>・長谷牡丹園では、植栽の充実や土壌改良、加えて栽培技術の向上を図り、花及び施設の魅力アップを図る。</li> <li>・宝塚北サービスエリア及びスマートインターチェンジの供用開始により、北部地域を訪れる方に西谷産農産物や南部地域の花き園芸等を生かした特産物や加工品のPR及び販売促進を図る。</li> <li>・西谷ブランド農産物の育成を支援し農業振興施設「西谷夢市場」での販売に努める。また、多品目の農産物を安定的に生産できるようハウス整備の支援等に取り組む。</li> <li>・特別名誉市民の木接太夫「坂上頼泰公」が発明した接ぎ木技術の功績を広報するための学習会や啓発などにより、植木などに触れ合ってもらい、植木産業の活性化を図る。設置後約20年が経過する園芸振興施設は老朽化が進んでいることから、雨漏り対策を含む外壁修繕工事を行う。</li> <li>・フラワー都市交流連絡協議会総会が2020年に宝塚市で開催される。これを本市の魅力を全国に向けて発信する機会と捉え、花き園芸協会、国際観光協会等の各種団体並びに市民ボランティアなどと連携し、市民との協働により取り組む。</li> <li>・農業者の高齢化や担い手不足など深刻化する北部地域の農業の課題解決に向けて、地域の農業者との連携を深め、新規就農者の確保や各地域での集落営農の推進や、農業の担い手育成に向けて、新規就農希望者が、地域の認定農業者などから指導を受けて、栽培技術や農業経営のノウハウを習得したり、地域の農業者との関係を深めたりする仕組みを作り、その実践の場として、西谷地域にビニールハウスを設置し、本市で新たに就農しやすい環境を整備する。</li> <li>・「都市農業振興基本法」及び「都市農地の賃借の円滑化に関する法律」の制定並びに生産緑地の基準引き下げなど、都市農地の保全や活用に向けた国の方針が次々と打ち出されている。本市においても、市民農園等の新たな整備とともに農作業体験や農福連携など都市農地の活用策について検討を進める。</li> <li>・現行の農業振興計画について、本市の農業を取り巻く環境の変化に迅速に対応すべく計画見直しに着手する。</li> </ul>

(5)	<p>宝塚北サービスエリアや既存施設の活用及び南部市街地など他の地域との交流・連携の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地利用規制の緩和による移住・出店促進や宝塚自然の家の利活用など北部地域振興に係る懸案事項について、所管課と地域の調整を図り「北部地域まちづくり基本構想」の実現を目指す。</li> <li>・サービスエリアを活用して、特産品・加工品および農作物の販売促進に係る、商農業者の取組とサービスエリア運営事業者やNEXCO西日本の関係調整を進め、産業振興を促進する。</li> <li>・阪神北県民局と連携して、県有林における市民団体による里山保全や自然体験活動を支援し、交流促進を図るとともに、地域振興に有効な活用策について検討を進める。</li> <li>・北摂里山博物館運営協議会や阪神北ツーリズム振興協議会など広域連携組織を活用して、厚みのあるPR活動を展開し、本市の魅力発信を行う。</li> <li>・行財政運営アクションプランに掲げる、自然休養村センターの施設のあり方見直しにより、自然休養村センターを廃止し、同センターを北部地域における防災拠点と位置付け、北部地域の行政機関を集約させるために、施設改修に併せて、耐震補強を施工する。</li> </ul>
-----	--	---